

ユキノシタ属の多様性をさぐる 知られていない新種がまだまだたくさん!!!!



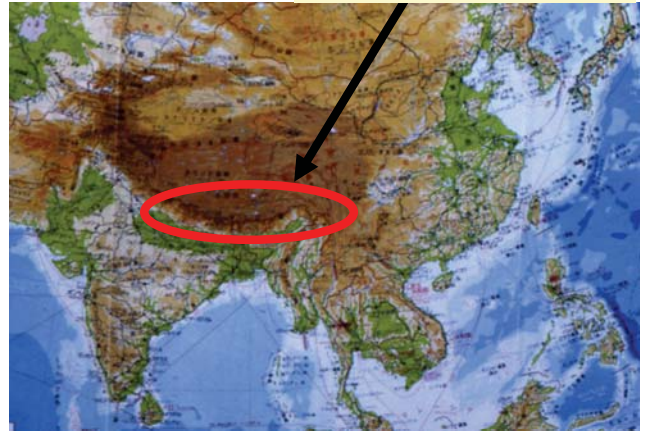
秋山 忍(あきやましのぶ)
植物研究部
陸上植物研究グループ
研究主幹
東京生まれ

ユキノシタ属は、ユキノシタ科に属し、約450種が主に世界の高山帯に生育する。ヒマラヤから中国にかけての中国-ヒマラヤ地域(Sino-Himalayan region)には多くの種が分布している。ネパール高山帯では最も種の多様性が高い属といわれている。この中国-ヒマラヤ地域にユキノシタ属植物が何種分布しているのか、どのような形態をしているのか、またそれらの種の系統関係を調べている。

中国-ヒマラヤ地域



中国-ヒマラヤ地域の高山(標高6000~8000m)



ユキノシタ属の花

中国-ヒマラヤ地域の高山帯には黄色の花をつけるグループの種が多い。



草の高さはわずか2cmほど。花が咲いていないとコケのように見える。



下向きに花を咲かせる。湿った高山草原に生育する。草の高さは10cmほどである。萼は赤く、腺毛が密生する。



高山帯までの道は遠い。橋のない急流を渡る大きな荷物を背負ったポーターたち。氷河からの水は零度に近く、流されたら危険。

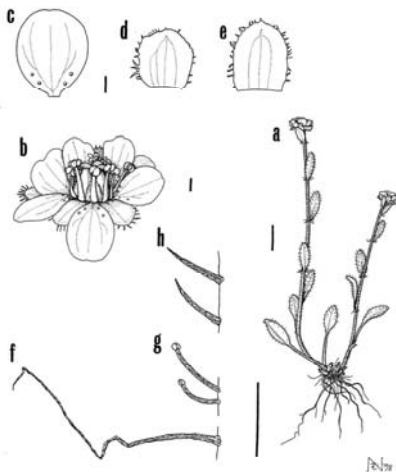


Fig. 2. *Saxifraga ganeshii* H.Obba & S.Akiyama (type). a: Habit. b: Flower (flower with 6 petals is shown, but flowers usually with 5 petals). c: Petal. d and e: Sepals. f: Hairs in axil. g: Glandular hairs on upper part of stem. h: Hairs on margin of leaf and on upper part of stem. Bar = 1 cm (a), 1 mm (b-h).

1994年のネパール調査で発見された新種の
Saxifraga ganeshii。
1999年当館研究報告(植物学)で発表された。



高山帯(標高4000m)での調査、調査チーム以外の人影はまったくみられない。